

第1回波浪予想勉強会 解析実習の内容

1. 目的および使用する観測値・データ類
2. 課題の外洋波浪図の完成図
3. 外洋波浪図とは
4. 外洋波浪図作成上の特徴
5. 波浪計データ時系列表
6. 波浪計データの見方
7. 衛星データ(地図に投影済み)
8. 波浪図の作成
9. 波浪図の下に敷いた天気図
10. 12時間前の波浪図
11. 12時間前の天気図
12. 数値計算での波浪予想図
13. 低気圧中心付近の最高波高の予測
14. S M B 図を使った低気圧中心の最高波高の予測
15. L と H にはさまれた領域の予測
16. L と H にはさまれた領域の予測 その1
17. L と H にはさまれた領域の予測 その2

1 . 目的および使用する観測値・データ類

目的：2800Z外洋波浪図の作成

データ：下に示すデータ・図

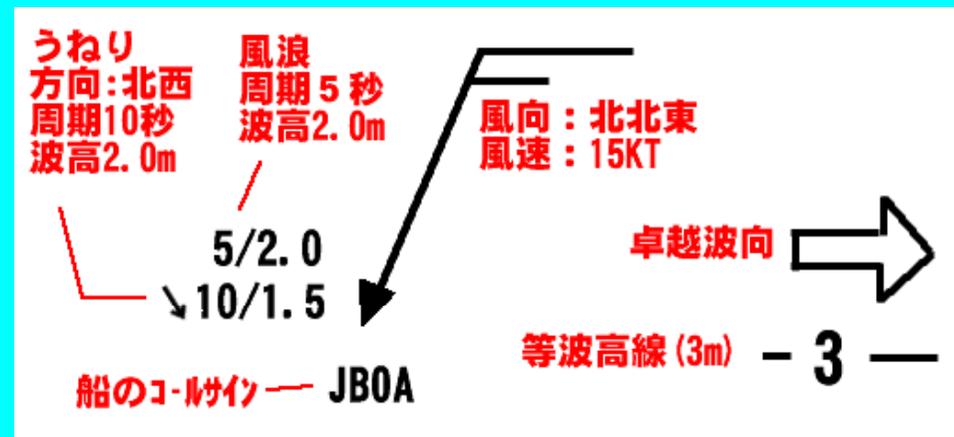
	観測値		解析値		
時刻	波浪計	衛星波高	地表面	予測計算	外洋波浪図
	データ	データ	等圧線図	波浪図	波浪図下図
2712Z	()	()			
2800Z					(目的)

2. 課題の外洋波浪図の完成図



3 . 外洋波浪図とは

- 特定範囲の波浪状態の分布を気圧や、船舶の状況を参考に解析
- 主に波高分布を考え、周期・波向きは副次的に解析
- 気圧系などに応じたスケールを考慮し、細かい分布にとらわれない
- 主観解析なので、実用上重要と思われる状況はデフォルメしても表現



4 . 外洋波浪図作成上の特徴

2002010800Zの場合のデータ数

- 波浪計：沿岸波浪計 . . . **9** : 日本の沿岸に限られている
- ブイ(気象庁) . . . **1** : 数が少ない
- ブイ(NOAA) . . . **14** : 数が少ない
- 気象観測船 . . . **5** : 数が少ない

- 船舶 . . . **75** : 場所に偏り, 風データのみも, 官能検査で偏り
(気象庁ではデータベース化し偏りを考慮して利用との事)
- 衛星 . . . **2.5本** : 数が少ない, 変換式での推定値
 知識を総動員して作図する
- 波の性質・風との関係等(ex波浪概論とか..)
- 大気特に表面の風向・風速の状況と変化動向
- 波浪状況の変化動向